

※本ニュースリリースは、BIPROGY 株式会社、富士シティオ株式会社の共同ニュースリリースです。重複して配信される場合がありますこと、ご了承をお願いいたします

2023年2月15日

報道機関各位

BIPROGY 株式会社
富士シティオ株式会社

BIPROGY と富士シティオ

日配品の AI 自動発注で、働き方改革と廃棄ロス削減を実現し SDGs 達成に貢献

～食品スーパー全店舗で AI 需要予測自動発注サービス「AI-Order Foresight」稼働～

BIPROGY と富士シティオは、AI 需要予測による発注自動化サービス「AI-Order Foresight」の導入が完了し、2月に全店舗で稼働を開始します。

「AI-Order Foresight」は、販売実績・気象情報・特売企画情報などの各種データをもとに、小売店舗における日々の商品発注数を自動算出するサービスです。作業負荷・難易度の高い業務の自動化により、従業員の経験やスキルに依存しない店舗運営や、機会ロス・廃棄ロスの削減を実現します。また、従来の自動発注システムは精度維持のために必要な予測モデルのチューニングが必要でしたが、AI 自動チューニング機能により、メンテナンスフリーで自動発注の運用が可能になります。

先行導入店舗では、対象商品の発注作業時間の5割削減、また、欠品や廃棄削減を実現しました。今後 BIPROGY と富士シティオは、対象商品を拡大し、従業員の働きやすい環境構築と適正な発注による SDGs への貢献、消費者満足度の向上を目指します。

【背景】

富士シティオでは、グロサリー商品(加工済みの商品や常温で販売できる商品)については自動発注システム(セルワンバイワン)方式を導入していましたが、日配品(生鮮食品を除く消費・賞味期限が短い食品)は、従業員が手作業で発注作業を行っていました。日配品は消費期限が短いため発注数量を決めるために、各従業員が経験から需要を予測しており、精度や発注作業効率に課題がありました。さらに、新型コロナウイルス(COVID-19)感染拡大の影響で、大きな市場環境や、消費者の購買行動の変化への対応も課題になっていました。

このような状況の中で、発注作業時間の削減と精度の高い発注が実現できることが事前検証で実証されたため「AI-Order Foresight」が採用されました。

【富士シティオでの「AI-Order Foresight」導入効果】

富士シティオでの「AI-Order Foresight」の導入効果は以下のとおりです。

・発注作業の効率化と精度向上で働き方改革を実現

「AI-Order Foresight」で算出された各商品の発注数量を発注端末(EOB:電子オーダブック)に毎朝表示をし、異常値のみ確認をすることで、作業の削減と精度の向上を実現

・社会状況の変化にも柔軟に対応

新型コロナウイルス感染拡大の影響で生じた環境の変化に対しても、各種データから将来の需要予測することで、精度の高い発注数量が算出され、現場の効率改善を実現

・販売機会、廃棄ロスを削減

AIを活用した精度の高い発注が可能になり、商品の欠品が減少することで販売機会ロスを防ぎ、併せて廃棄ロスの削減も実現

・人手不足による課題の解決

経験が少ない従業員でも精度の高い発注が可能になり、新しく採用された従業員の早い戦力化が可能

【今後の取り組み】

BIPROGY と富士シティオは、精肉加工品、惣菜、カット野菜など他カテゴリーに対する「AI-Order Foresight」の展開を計画しており、従業員の働きやすい環境構築と適正な発注によるSDGs 達成への貢献、消費者満足度の向上を目指します。

以上

■ AI-Order Foresight サービス概要

「AI-Order Foresight」は、小売店舗の販売実績・気象情報・催事情報などの各種データから、AIを活用し、適切な商品発注数を自動決定するサービスです。作業負荷・難易度の高い発注業務を自動化することで、従業員の業務負担を軽減し、従業員の経験やスキルに依存しない店舗運営・機会ロス・廃棄ロス削減を実現します。処理技術には、BIPROGY が保有する統計解析技術と AI 技術を活用しています。統計解析と AI を組み合わせ、高精度分析を短時間で実施し、従来の自動発注システムでは精度面で実現困難だった日配品・生鮮品などの自動発注化が可能になります。また、従来の需要予測では欠かせなかったデータサイエンティストやアナリティクス組織による予測モデルの改善を、AI 機能が代替実施するため、専門家を有さなくとも予測精度の維持・向上が可能になります。

■ 富士シティオ概要

富士シティオ株式会社は、神奈川県を中心に食品スーパーを49店舗展開しています。1952年の創業以来、売り手によし、買い手によし、世間によしという「三方よし」の理念の中で、常に「地域社会のより豊かな暮らしと幸福のためにご奉仕する」ことを基本理念に営業活動を行っており、地域に温かなふれあいの場を提供する生活提案産業として、地域に住む人々の生活に役立つ企業でありたい…」を実践し続けています。

■ BIPROGY 概要

BIPROGY 株式会社は、新たな Purpose に掲げた社会的価値創出企業の実現に向け、2022年4月1日に日本ユニシス株式会社から会社名(商号)を変更しました。BIPROGY グループは、日本初の商用コンピューターによって今日の情報社会を拓き、以来60年以上にわたりシステムインテグレーターとして顧客課題を解決し、社会や産業を支えるシステムを構築してきました。

この経験と実績をバックボーンに、さまざまなパートナーと共に取り組んできた社会を豊かにする新たな価値創造と社会課題解決の取り組みを加速させ、社会的価値創出企業に変革していきます。

■ 関連リンク：

「AI-Order Foresight」

<https://pr.biprogy.com/solution/lob/commerce/retail/aiorder/index.html>

「富士シティオ株式会社」<https://www.fujicitio.com/>

「BIPROGY 株式会社」<https://www.biprogy.com/>

※AI-Order Foresight は、BIPROGY 株式会社の登録商標です。

※その他記載の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

※掲載の情報は、発表日現在のものです。その後予告なしに変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

<本ニュースリリースに関するお問い合わせ>

https://www.biprogy.com/newsrelease_contact/